

# Daytona

6

海外人の  
流入が加速

海外からの  
移住者が急増  
その背景と  
今後の展望

海外からの  
移住者が急増  
その背景と  
今後の展望

## まだキラキラ やってるの？

お金持ちがドレスダウンの時代

お金持ちがドレスダウンの時代



そこんどこ  
夜露死苦!



# 亮さん、 国産旧車の 聖地へ行く



**愛** 旧車改倶楽部

国産旧車が旧車でなかったあの昭和へ

「タイム・スリップした亮さん!」の巻

日本を代表する名車の前で、気合い入りまくりのお兄さんがひとり。読者に向かってメンチを切ってるのは……あの優しい亮さんじゃないですか!今回は、国産旧車をチューニングさせたら半端なし!の聖地に殴り込みだ!

Photo: T. Yamaguchi / SHOOTING STAR

「お前ら、ワカってんだらうな?今日は国産旧車の粉本山に殴り込みだ!行くぜ!」いっぴくなく気合いが入ってる亮さん、席り方もウン〇座りというが、一昔前のヤン〇一系、こころなしか写真もセピアで、なにやら旧さ長き旧車黄金時代に突っ込んだよう。「そりゃそうだろう。なんたって相手はロッキターの兄弟、オレの愛する1型を昨日に載せ替えちまうって噂のお店だ、気合いも入るってモンだぜ!」

今頃の旧車倶楽部は、愛知県は岡崎にシマを持つ……じゃなかった、シマを構えるロッキターオートさん、ハコスカやZ、そして510フルに現行スカイラインのそれを載せて、パワステ・オートマ・エアコン付きの快適旧車を作ってしまうショップなのだ。そりゃあ亮さんのハイテンションも分かるというモノ。

「ちょっと待ってくれや編集の兄さんよ。風の噂によれば、快速なだけじゃないって話じゃないか。なんでもそりゃあぶったまげたハイパワーを簡単にしはき出しちまうとか……。なんたって旧車だからな。」

滞在わずか2時間だった前回の鈴鹿口ヶ岡様、今回の取材もタイトなスケジュールを踏っての強行口ヶ。とんぼ返りで東京に戻らなくてはいけない亮さんですが、国産旧車の取材ともなると好奇心には勝てないようです。もちろん、レストア中の亮さんら10のモンスター化をたくらむディナーにとっても、悪くない展開ではあります。

「まーだそんなコトを言ってるの?そんなコトはいいからさき、早く行くらうよ!」

ショップに到着するやいなや、GT車仕様のハコスカのハンドルを握った亮さん、「うわ、あっちんかスムーズやん! 速くて乗りやすい! うま……」と、発動にタイムスリップしてしまったかのような亮さん。そのテンションは止まりません。

